



THE STORY OF

Deco Pro

100周年（2033年）に向けたデザインコラボレーションプロジェクト「Deco Pro」を始動

宮城県の伝統工芸品「玉虫塗」を継承し続ける東北工芸製作所は、90周年を契機にスタートしたデザインコラボレーションプロジェクト「Deco Pro（デコプロ）」を発表いたします。本プロジェクトは、国内外のデザイナーや企業とのコラボレーションを通じて、伝統技術と地域文化を融合させ、新たな価値を創造することを目指しています。

「Deco Pro」の各プロジェクトでは、パートナーとなるデザイナーや企業と共に、お互いの地域の歴史や文化を尊重しながら、モチーフとして歴史をテーマに据えた製品開発を行います。これは、単なるデザインの融合に留まらず、異なる文化や歴史を深く理解し、共に新たな作品を生み出す試みです。

プロジェクトの背景には、創業から100年を迎える東北工芸製作所が、次世代へ向けた伝統技術の継承と、新しい形での発展を目指すという強い意志があります。90周年を迎えた後、この大きな節目に立ち、玉虫塗の可能性をさらに広げるべく、「Deco Pro」を通じて新しい挑戦を続けてまいります。

歴史ある技術と革新の融合、そして日本が誇る伝統工芸品「玉虫塗」の未来に向けた歩みを、どうぞご期待ください。



©TERO SUUTARI

DECO PRO FIRST PROJECT

COLLABORATOR: YO ZEN (CITY OF OULU, FINLAND)

私たちが大切にしている誇り高い地元の歴史と文化を共有したとき、コラボレーターのYO ZENは日本を代表する藩主であり、近代都市仙台の創設者である「伊達政宗」にインスピレーションを受け、彼に基づいたデザインを作成しました。

DATE MASAMUNE

1. 日本の藩主であり仙台市の創設者
2. 仙台の文化とアイデンティティとして今も受け継がれる遺産
3. 伊達政宗（文化の象徴）を中心とした地域の祭り・イベント
4. 仙台に根付いた「伊達」ブランドの確立と日本展開
5. 地域の人々の誇りであり愛すべき人



©SENDAI CITY

OULU: THE PARTNER DESIGNER'S TOWN IN FINLAND

コラボレーター（パートナーデザイナー）が住むフィンランド北部のオウル市と、東北工芸がある仙台市は2005年より友好都市を締結しています。

両都市は、オウル市が1605年、仙台市が1600年に設立され、ほぼ同じ時代・歴史を持っています。オウル市は、近くに豊かな自然があり、無線技術を基盤とした革新的なハイテク都市として世界的に有名です。

仙台市もテクノロジーと杜（木々）が見事に融合した町です。

私たちは両都市の歴史、文化、人々に多くの類似点、共感、信頼を感じ、優しさと愛を持ったパートナーデザイナーとのコラボレーションから多くのことを学びました。



©BUSINESSOULU

DESIGNER PROFILE



YOZEN

デザイナー紹介

パウラ・コウリとカテ・サルミネンは、デザイン業界に新たな地平線を模索していた建築家です。二人ともファッショングが大好きで、自分のデザインブランド YO ZEN を立ち上げました。二人の建築における強い背景と思想は、すっきりとしたラインのデザインと考え抜かれたコンセプトに表れています。

会社紹介 & コンセプト

YO ZEN は、フィンランドのオウル発の レディースウェア & アクセサリーのブランドです。YO ZEN は、人々に喜びをもたらす時代を超えたファッショングをデザインします。

YO ZEN をたちあげるきっかけは、凍ったオウル川の岸辺で起ります。

建築家として働いていたパウラとカテは、オウル川を一羽の白鳥が滑空していることをみつけました。彼女たちは負傷した白鳥の世話をし、冬の間。餌を与えました。春になると、白鳥は元気になり、晴れた朝に翼を広げて羽ばたきました。白鳥の生還は美しい記憶を残し、新しく設立された会社の名前は、フィンランド語で白鳥を意味する「joutsen (ヨウツエン)」に似ていますから、その名をつけました。

このコラボレーションからの考察と感想

仙台の建国の物語に新たな視点と理解をもたらすことができとても気に入りました。どのようなモチーフやデザインが日本の観客だけでなく、お土産を探している観光客の興味を引くかを考えるのは、非常に興味深い挑戦でした。最終的な製品は、モダンなデザインと昔ながらの伝統的な技術を組み合わせたものです。

<https://www.yozendesign.com/>





YASUHIRO SAURA

ABOUT US

PHILOSOPHY OF TOHOKU KOGEI

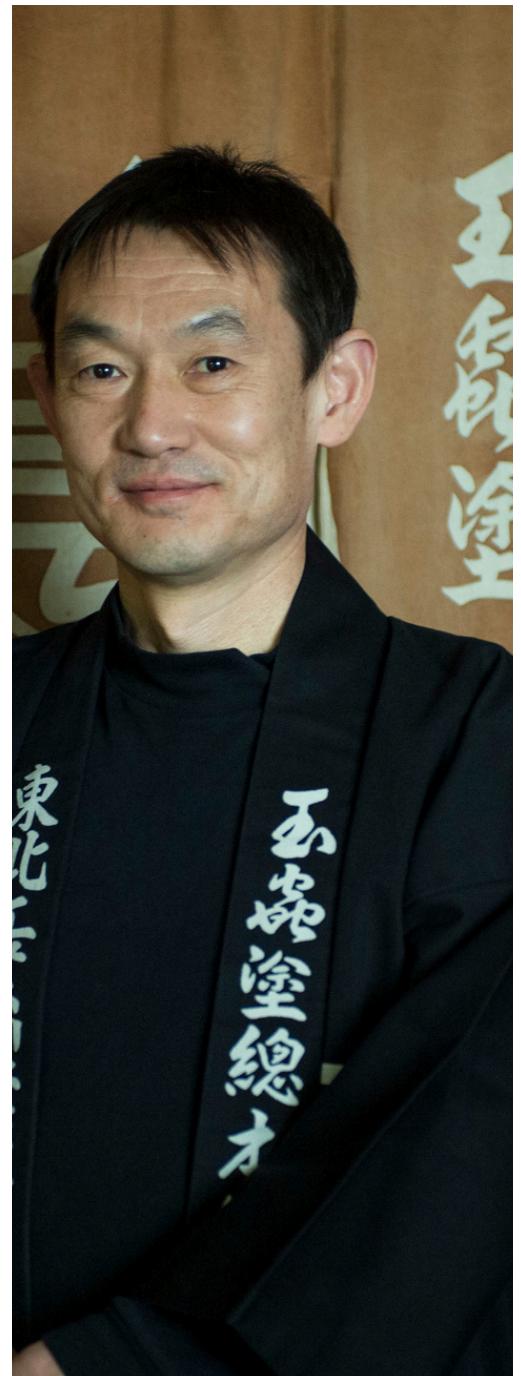
東北工芸製作所が創業以来大事にしてきたこと——。それは「見る工芸から使う工芸へ」という、ものづくりの精神です。これは、昭和初期に仙台に開設された日本初の国のデザイン研究施設「国立工芸指導所」から受け継いだ基本理念でもあります。仙台で生まれた「玉虫塗」という漆塗りの特許技術を生かして、国内だけでなく、海外を視野に入れながら、いまのライフスタイルに合う色やデザイン、価格帯を意識しながら商品開発に取り組んできました。玉虫塗は、昭和初期に仙台にあった国立工芸指導所の指導所所員だった漆芸家小岩峻によって発明されました。工芸指導所で誕生した玉虫塗を、仙台を代表する工芸品に育てたのは、現・東北工芸製作所の初代社長、佐浦元次郎です。東北工芸製作所は、工芸指導所と東北帝国大学（現在の東北大）の支援を受けて、1933年に設立されました。

TAMAMUSHI LACQUERWARE

「玉虫塗」は、艶やかに照り返す発色と光沢が特徴の、仙台生まれの漆芸です。光の加減で色合いが微妙に変わる、その豊麗な色調がタマムシの羽根に似ていることからこの名が付けられました。「銀粉」を撒き、その上から「染料」を加えた透明な漆を塗り上げるという独特的の技法で、これまでの漆器にはない、鮮やかな色と輝きをみ出しています。

1939年に玉虫塗の特許実施権を得て、国内・海外向けに多くの商品を製作してきました。

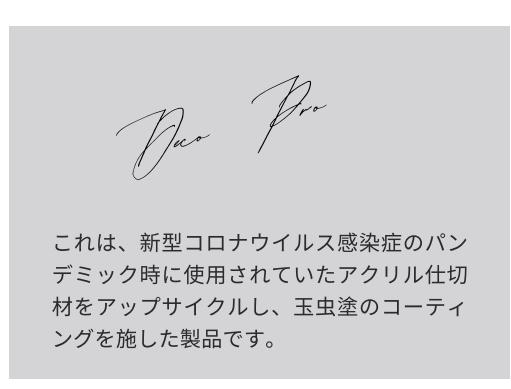
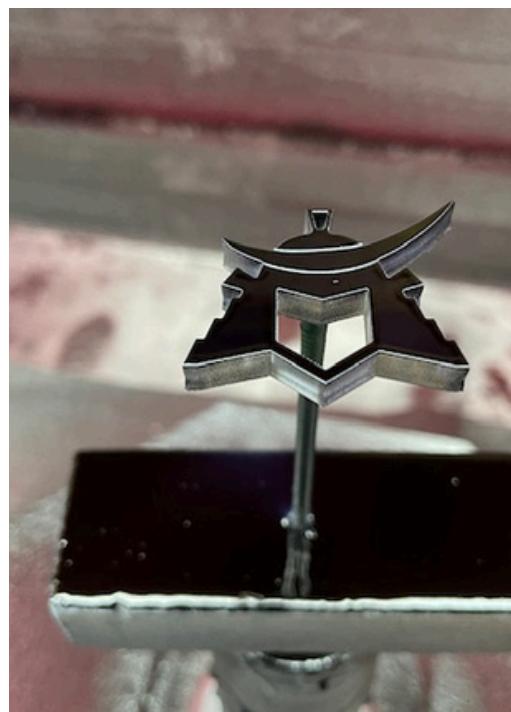
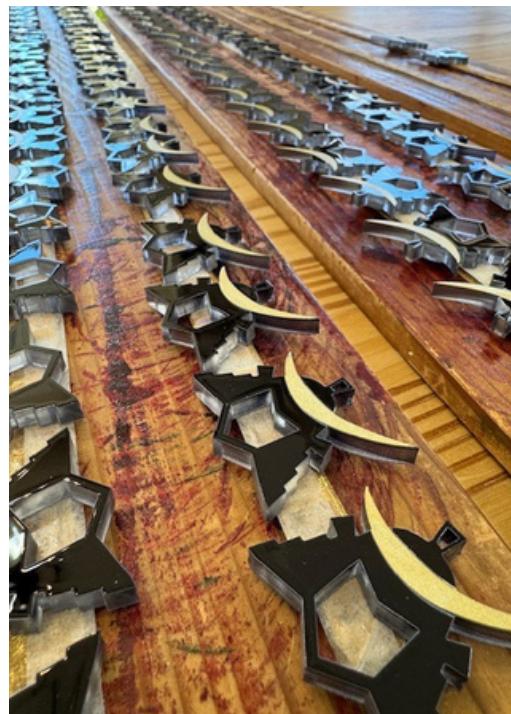
1985年には宮城県の伝統的工芸品の指定を受け、現在は献上品、記念品などでも多数ご注文をいただき、仙台の特産品として親しまれています。





Shogun-Masamune pin badge

U P C Y C L E D P R O D U C T S



これは、新型コロナウイルス感染症のパンデミック時に使用されていたアクリル仕切材をアップサイクルし、玉虫塗のコーティングを施した製品です。

塗料には、玉虫塗のナノコンポジットを使用

2021年「粘土と樹脂と有機溶剤を含むコーティング剤、それを用いた保護層、及び製品」で国立研究開発法人産業技術総合研究所との共願特許取得

(国内特許第6943367号)

(海外米国: US20180326707A1・EU: 3378912)



Deco Pro Credit

First project: Tohoku Kogei (Sendai, Japan) x YO ZEN (Oulu, Finland)

Product partner designer: Paula (YO ZEN), Kate (YO ZEN)

Project led by: Tohoku Kogei

Product creator: All staffs (Tohoku Kogei)

Chief coordinator: Midori SAURA (Tohoku Kogei)

Coordinator & Advisor: Takako UCHIDA (BusinessOulu)

Communication supporter: Maki SHIBATA(ANMITU)

Technical cooperator: Katsutoshi ITO, Toshinori ITO, Keisuke SHINOTSUKA Kana MASUDA (Industrial Technology Institute, Miyagi Prefectural Government), National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST) Tohoku

Supporter: City of Sendai (Japan), City of Oulu (Finland), BusinessOulu (Finland)

Deco-Pro initiator: Miori SEKI (office ayumitoiro), Maki SHIBATA(ANMITU),
Takako UCHIDA (BusinessOulu), Midori SAURA (Tohoku Kogei)

Special thanks with LOVE: Miori, Maki and Takako